

平成18事業年度実績報告書の概要



目 次

1. 平成18年度計画実施にあたっての大分大学の状況について	
— 主として従前の法人評価への対応と関わって —	・・・ 1
(1-1) 平成16年度事業評価への対応	・・・ 1
(1-2) 平成17年度事業評価への対応	・・・ 2
(1-3) 法人化のメリットを生かした経営戦略の推進	・・・ 2
2. 平成18年度計画の推進にあたっての基本的方針について	・・・ 3
3. 平成18年度計画全体の総括	・・・ 3
4. 各分野における特色ある取組とその成果について	
(4-1) 業務運営の改善及び効率化を目指す取組	・・・ 4
(4-2) 財務内容の改善を目指した取組	・・・ 5
(4-3) 情報公開の促進を目指した取組	・・・ 6
(4-4) 教育研究等の質の向上を目指した取組	・・・ 8

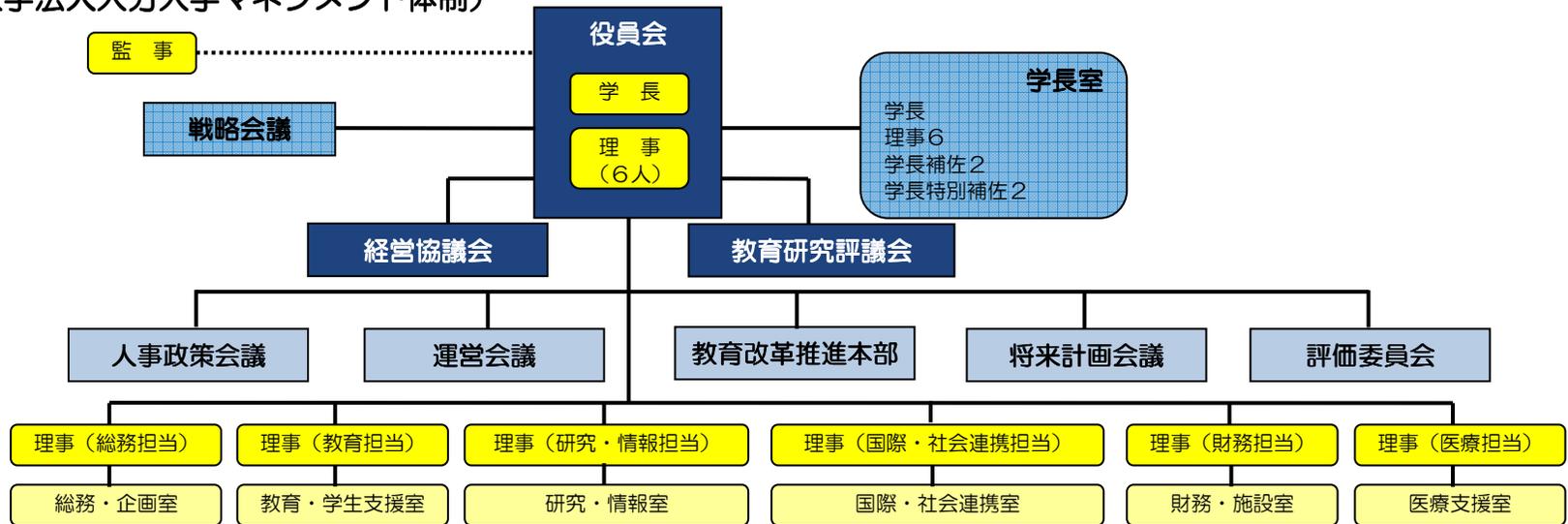
1. 平成18年度計画実施にあたっての大分大学の状況について — 主として従前の法人評価への対応と関わって —

- ① 学長リーダーシップのもと、統合と法人化のメリットを生かした「地域社会と連携して特色ある大学づくり」の推進
- ② 法人評価委員会からの指摘事項の完全達成を最低限の前提とし、225項目の諸事業の推進

(1-1) 平成16年度事業評価への対応

- ① 統合のメリットを最大限発揮した運営組織等の改善を最優先課題に掲げ、学長を支援する「学長室」及び各理事を支援する「理事室」を設置
- ② 各理事室に部門会議制を導入、並びに、学長補佐、学長特別補佐を置き、大学運営の円滑化と迅速な意思決定システムを推進

(国立大学法人大分大学マネジメント体制)



(1-2) 平成17年度事業評価への対応

- ① 学長裁量経費の配分ポリシーや選定プロセスの抜本的な見直しを行うとともに、研究及び社会連携の活性化並びに法人経営の安定化を目指し「外部資金獲得拡大方策検討ワーキング・グループ」を設置
- ② 科学研究費補助金の獲得増を目指した「科学研究費補助金獲得戦略プロジェクト」の立ち上げによる改善
- ③ 平成19年度末に新教務情報システムを導入
- ④ 教育担当理事を中心とした「教員養成カリキュラム委員会」を設置

(1-3) 法人化のメリットを生かした経営戦略の推進

- ① 学長裁量経費の戦略的運用の推進
- ② 学長裁量定員の確保と活用
- ③ 専門的・指導的分野への職員採用と民間からの公募による登用
- ④ 法人の監査機能の整備と充実
- ⑤ 中期目標期間中の人件費シミュレーションを通じた多様かつ柔軟な人事制度の導入と遂行

2. 平成18年度計画の推進にあたっての基本的方針について

平成18年度当初に、学長から全教職員及び全学生に向けて、重点的課題や基本的な運営方針を盛り込んだメッセージを、ホームページを使って発出

- 【メッセージの骨子】**
- ☆ 法人評価委員会による評価への確実な対応
 - ☆ 学長リーダーシップのもとでの迅速な意思決定システムの推進
 - ☆ 統合のメリットを生かした両キャンパス間の交流促進
 - ☆ 入学前から卒業後まで、学生の目線に立った教育システムの構築
 - ☆ 大分大学の研究の柱の早期構築
 - ☆ 社会連携を通して地域と共に歩む大学づくり
 - ☆ 附属病院における地域医療機関との連携強化への取組
 - ☆ 予算の効率的な活用と競争的資金の獲得



公開ホームページ「学長メッセージ」

3. 平成18年度計画全体の総括

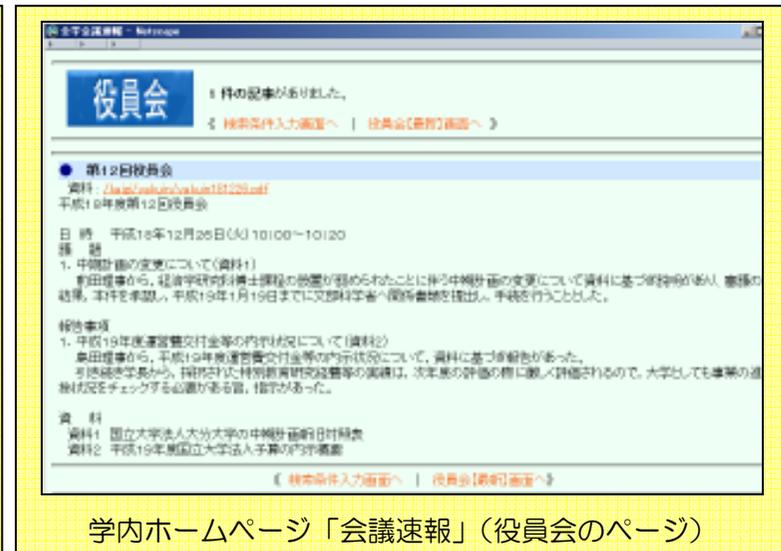
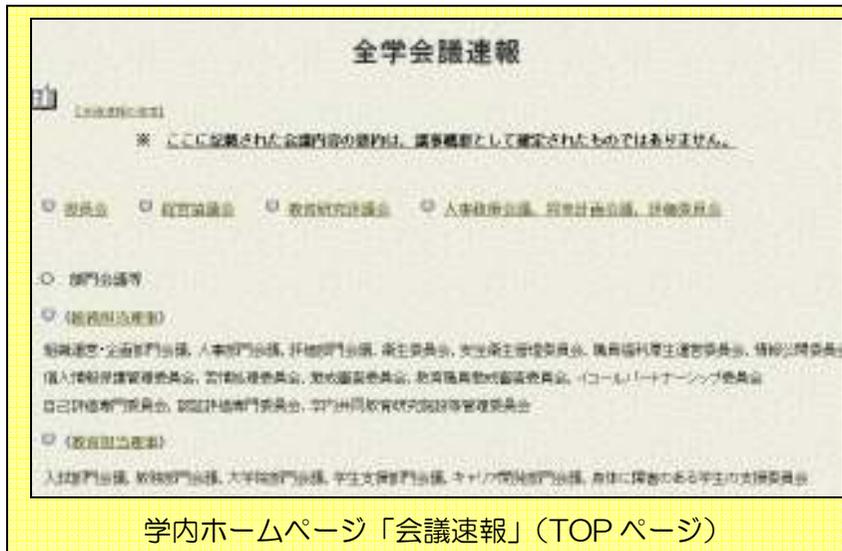
① 「業務運営・財務内容等の状況」（116項目）の自己評価は、「年度計画を上回って実施している」が9項目、残りの107項目は「年度計画を十分に実施している」

② 学内の評価委員会による判定では、中期計画全225項目の達成率の単純平均は101%で、平成16年度終了時の82%、平成17年度終了時の98%に対し、順調な達成率の伸びを示し、中期目標の完全な達成に向けて順調に推移

4. 各分野における特色ある取組とその成果について (4-1) 業務運営の改善及び効率化を目指す取組

① 全学委員会を理事室内の部門会議に収斂し、委員会数を61→36（41%減）、委員数を469→277（委員数41%減）に縮減し、運営会議を定例化

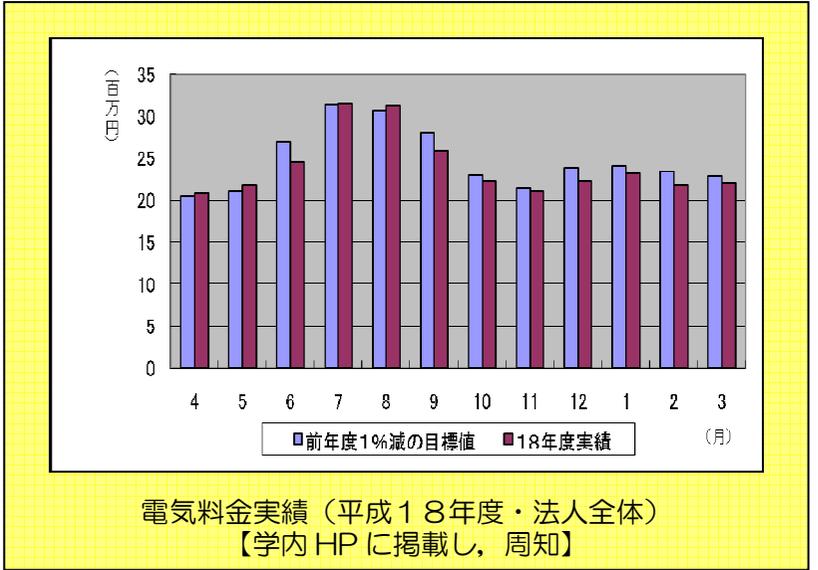
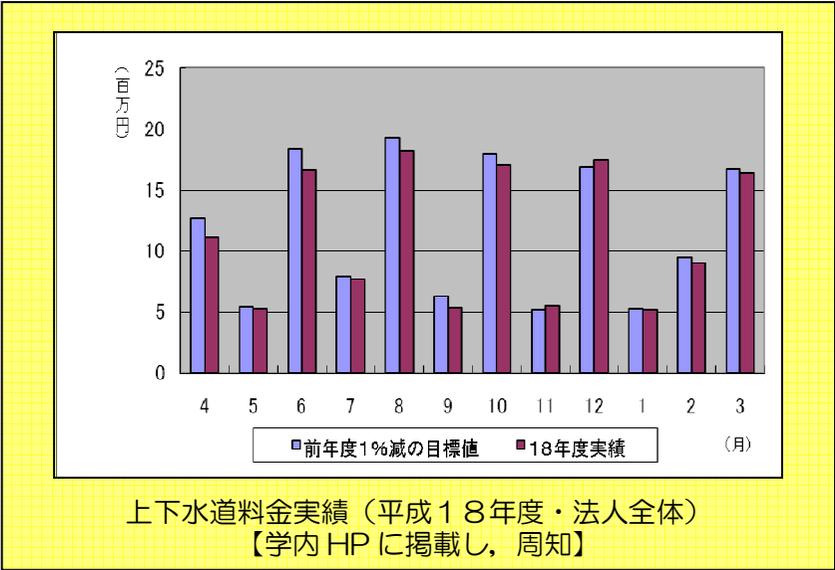
② 学内ホームページへ会議速報のページを開設



③ 学生収容定員の状況については、充足率の低かった医学系研究科博士課程について従来にも増して入試広報等の充実により、充足率は91.7%（19年5月現在）と大幅に改善し、更に20年度から従来の4専攻を1専攻へ改組することを決定

(4-2) 財務内容の改善を目指した取組

- ① 外部資金及び自己収入の確保を目指し、ワーキング・グループを設置し、学長裁量経費の配分ポリシーや選定プロセスの抜本的な見直しにより、獲得に繋がるシステムを整備し、その結果、平成18年度受入額は、前年度と比較し、1億600万円の増額（受託研究費17%、共同研究81%、寄付金11%の増）
- ② 科学研究費補助金についてもプロジェクトを設置し、平成19年度分の申請率（約83%）は前年度比5%の向上、採択率は1.9%の向上、採択額は8千9百万円の増額
- ③ 支出面では、部局ごとに光熱水費の抑制目標を設定し取組んだ結果、実績額で前年度比3.8%減、約2千万円の削減を達成。平成19年度からは地下水の供給請負契約を締結し、水道料金を縮減



(4-3) 情報公開の促進を目指した取組 (その1)

- ① 平成17年10月から継続している学長による定例記者会見が完全定着し、本学に関するマスコミ報道件数が、記者会見実施前に比べ、年間92件の増 (対前年度比25%の増)



定例記者会見を行う羽野学長



定例記者会見を行う本学学生

(4-3) 情報公開の促進を目指した取組 (その2)

② 平成18年度は暫定版ホームページのアップ, 平成19年度には全面リニューアル予定

③ 相互協力協定を締結した金融機関, 大分市役所関連施設及び大分県下の進学校(高校)20校に広報用ラックを設置し, 広報誌等を配架することで随時情報発信



広報用ラック (大分みらい信用金庫)

(4-4) 教育研究等の質の向上を目指した取組 (その1)

① 文部科学省の GP プログラム「平成18年度大学教育の国際化推進プログラム（海外先進教育実践支援）」に「国際・熱帯感染症実地教育プログラムの構築」が採択
 地域づくりを担う高度専門職業人育成のため「大学院経済学研究科博士（後期）課程地域経営専攻」を平成19年4月設置



(4-4) 教育研究等の質の向上を目指した取組 (その2)

- ② 本学の重点研究領域の「生命現象の基礎的研究並びに健康の維持・増進, 疾病の治療・予防に寄与する独創的, 先進的研究」において, 「ヘリコバクター・ピロリ」関連の2課題で顕著な研究成果
日本学術振興会の「外国人著名研究者招聘事業」の一環で, ヘリコバクター・ピロリ菌の発見で2005年度ノーベル賞受賞者ロビン・ウオーレン博士, バリー・マーシャル教授を招聘, 「名誉博士」・「客員教授」称号授与



ロビン・ウオーレン博士と羽野学長



バリー・マーシャル教授と羽野学長

(4-4) 教育研究等の質の向上を目指した取組 (その3)

- ③ 「入学前から卒業後まで」学生の目線に立った学生支援の取組として、「大分大学授業料奨学融資制度」の発足
学生の活動を通して、大学及び地域の活性化を促進するため「大学活き² (いきいき) プロジェクト」を新設
企業の寄付金 (学生支援協力金) による課外活動の支援
OB・OGによる就職活動の支援 (キャリアサポーター制度)



活き²プロジェクト「きれいな彫刻のある街づくり」



就職支援「キャリア相談室」

(4-4) 教育研究等の質の向上を目指した取組 (その4)

- ④ 附属病院について、昨年建設した「卒後臨床研修センター棟」の供用を開始し、充実した卒後臨床研修の実施
附属病院の経営改善に向け、「附属病院戦略的企画部門会議」において、データの分析及び病院長によるヒアリングの実施
がん・地域医療等社会的要請の強い医療の充実に向けた取組の推進



卒後臨床研修センター



臨床研修風景

(4-4) 教育研究等の質の向上を目指した取組 (その5)

- ⑤ 附属学校について、「学部・附属連携推進委員会」を設置し、機能の充実
地域との連携推進のため「開かれた学校づくり協議会」開催大分県教育委員会との連携で、教員研修実施
- ⑥ 地方自治体との協定締結について、平成18年度に大分県及び大分県下全14市との締結を完了し、共同事業がスタート
包括連携協定を締結している地域金融機関との連携で、新たに大分県地域 MOT 推進協議会を設立し、各種人材育成プログラムに関する公募事業の申請、2件採択
「大学の地域貢献ランキング」34位/448大学中
地域医療に貢献する人材確保のため、医学部医学科学士編入学に地域枠3名を設け、「大分県医師修学資金貸与制度」を平成19年4月から導入

(自治体との連携協定締結状況)



(企業との連携協定締結状況)

企業名	締結日	主な連携協力内容
株式会社大分銀行	2004.8.2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興への貢献 ・共同研究等による地場企業の育成強化 ・ベンチャー企業の育成 ・相互の人材育成
株式会社豊和銀行	2004.8.3	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究活動の連携 ・研究成果の普及、活用促進 ・学習機会の提供 ・中小企業への支援、情報提供 ・地域振興への貢献
大分信用金庫	2005.6.10	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産業の発展に寄与 ・共同研究等による地場企業の育成強化 ・ベンチャー企業の育成 ・相互の人材育成
大分みらい信用金庫	2005.6.10	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりを通じた地域振興への貢献 ・地場産業からの技術相談、研究相談 ・大分大学と地場企業との共同研究の推進 ・中小企業等の創業、新事業支援
中小企業金融公庫大分支店	2007.12.21	<ul style="list-style-type: none"> ・地場企業の各種情報とネットワークの活用
株式会社トキハ	2005.5.10	<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興への貢献 ・販売戦略に関する共同研究 ・相互の人材育成

- ⑦ 平成18年10月「大分大学の国際交流に関する基本方針」策定

大分大学学歌

作詞 蛙屋 萬斎
作曲 道谷 増夫

一、速吸瀬戸の 風寄せる
恵み豊かな この海は
無限の理想 膨らます
我らここに 学びては
深き叡智を 養いて
未知へと挑む 者ならん
ああ 大分大学 我らあり

二、遠く山並み 仰ぎ見る
稔り豊かな この平野
自由の想い 強くする
我らここに 学びては
創造の気を 育みて
時代を導く 者ならん
ああ 大分大学 我らあり

三、広く世界に 開かれた
歴史豊かな この地には
進取の気概 溢れたり
我らここに 学びては
その志 受け継ぎて
世界に羽ばたく 者ならん
ああ 大分大学 我らあり



渡辺恭英 画